

企画展「福井藩の医療～家業、医学所、種痘～」 展示目録
 【令和4年1月15日(土)～同年2月27日(日)】

No.	資料名	頁数	年代	所蔵
第1章 福井藩の成立と藩医制度の整備				
1	家譜 綱昌公(福井藩医吉田一貞、將軍家綱の治療を命じられる)	1冊	明治～大正期(19～20世紀)	越葵文庫(当館保管)
2	梨子地黒塗箱入鍼	2本	江戸時代以降	個人蔵(当館寄託)
3	先祖由緒書	1冊	明和7年(1770)以降	個人蔵(当館寄託)
4	家流金瘡秘伝書 全	1冊	貞享4年(1687)3月8日	個人蔵(当館寄託)
5	南蛮流金瘡口伝目録	1巻	貞享4年(1687)3月12日	個人蔵(当館寄託)
6	阿蘭陀口和書	1綴	江戸時代(元禄年間)	個人蔵(当館寄託)
7	栗崎道伯宛奥外科医任命状	1枚	(嘉永7年)9月4日	個人蔵(当館寄託)
8	外科器具(ハサミなど)	5点	江戸時代以降	個人蔵(当館寄託)
9	調剤箱	2揃え	江戸時代以降	個人蔵(当館寄託)
10	葉算筭	1台	江戸時代後期	個人蔵(当館寄託)
11	楊心流朋譯図(前・後)	2巻	江戸時代中期(17～18世紀)	越葵文庫(当館保管)
第2章 医学所・済世館の創設と発展				
12	家譜 治好公(済世館創設につき達し)	1冊	明治～大正期(19～20世紀)	越葵文庫(当館保管)
13	済世館創業	1綴	明治14年(1881)7月	当館蔵
14	乍恐奉願上趣意書之覚(学寮建設・不審な売薬取り締まりにつき)	1冊	江戸時代後期(19世紀)	個人蔵(当館寄託)
15	町在医師開業順	1綴	明治2年(1869)5月以降	個人蔵(当館寄託)
16	神農像	1幅	江戸時代	個人蔵(当館寄託)
17	安政前後福井城下之図	1舗	昭和29年(1954)写	当館蔵
18	医学所掲示解剖禁戒(複製)	1巻	昭和46年(1971)秋複製	当館蔵 ※原本は個人蔵
19	『済世館小史』(解剖祭図)	2冊	昭和7年(1932)11月15日刊	当館蔵
20	福井済世館記事	1冊	明治24年(1891)頃	福井市春嶽公記念文庫(当館蔵)
21	家譜 慶永公(藩医・町医双方の心得違いにつき)	1冊	明治～大正期(19～20世紀)	越葵文庫(当館保管)
22	医学所規則	1冊	明治12年(1879)以降	個人蔵(当館寄託)
23	半井仲庵油絵画像額	1額	明治7年(1874)12月	当館蔵(福井市医師会寄贈)
24	半井仲庵油絵画像額讃(松平春嶽筆)	1額	明治7～8年(1874～5)	当館蔵(福井市医師会寄贈)
第3章 種痘の導入と除痘館の活動				
25	たるま	1体	文政6年(1823)1月拝領	個人蔵(当館寄託)
26	『牛痘発蒙』	1冊	嘉永2年(1849)6月序	個人蔵(当館寄託)
27	弘化三年丙午元藩へ差出候願面写	1冊	弘化3年(1846)	当館蔵
28	痘瘡之難を永世免れ候趣法書	1冊	嘉永元年(1848)	当館蔵
29	戦兢録	1冊	嘉永2年9月～同6年6月	当館蔵
30	除痘館班次	1綴	嘉永2年(1849)	当館蔵
31	笠原白翁使用の種痘器具(ガラス製蓄苗器・接種用針)	計6点	江戸時代末期(19世紀後半)	当館蔵
32	『新訂牛痘奇法』	1冊	嘉永2年(1849)11月刊	個人蔵(当館寄託)
33	養生法	1冊	嘉永5年(1852)以降	当館蔵
34	『牛痘問答』(草稿本)	1冊	嘉永3年(1850)11月刊	当館蔵
35	痘苗盗取妄種禁止の願書写	1冊	嘉永2年(1849)12月3日	当館蔵
36	笠原白翁願書写	1冊	安政3年(1856)以降	当館蔵
37	牛痘所図面(パネル)	1枚	嘉永4年(1851)以降	滋賀医科大学附属図書館河村文庫
38	種痘接種簿	14枚	安政2年(1855)	当館蔵
39	白神痘用往来	8冊	嘉永2年1月～安政6年6月	当館蔵
40	栗崎道伯宛藩庁書付(種痘出精につき)	2枚	①嘉永5年(1852)12月16日 ②安政元年(1854)12月16日	個人蔵(当館寄託)

※福井市春嶽公記念文庫は当館蔵、越葵文庫は当館保管の資料です。